

がないかなということ。

子育ては別に苦じゃないということですね。子育て自体は、男がやっても苦じゃないと思います。

できれば一緒にやって、彼女のためにやらせてあげたかったですね。
せっかく苦労して徹夜で仕事をしていたりしていた中で、あともうちょっとでいうところで僕が断念させてしまったので。

■ 家事へのかかわり

今は（家事は全部妻）

■ 育児休業について

（妻が育休とったのは）5年前ぐらいだったんで、その立ち上がりだったのかな。今やっ
と、そういうのも本格的に取り組んでいるんじゃないですかね。

（今は取る人）多いですね。

男性もとれるって聞いていますけれども、聞いたことないです。

（奥さんが）おうちにいるのに産休をとらせてくれるのかというあれもありますよね。

（長男が生まれたとき、男性も休める制度があつたら）彼女が働くというのだったら、も
しかしたら、とっていたかもしれませんね。

■ 会社の雰囲気

（男性が育休とるのはとりにくい感じですか） そうじゃないですかね。

つい2～3年前から時短を導入して、実際にそういう子を持つ女子マネジャーを部下に持
って、育児の時短に関しては僕は経験者だったので、なおさらとらせてあげたんです。

通常は8時間のところ4時間です。（期間は）1年じゃないですか。

時間で帰られるので仕事はほかの人に負担が行きますけれど、それはしょうがないのかな
と。

周りにいる上司、部下の理解の問題ですね。

上にも2、3、4人女性がいますけれども、そういう方も子育てをしながら店長をや
っていたり、子育てしながらそういうのをやっている。上になればなるほど仕事の量がす
ごいふえるんですけれども、でも、うまくこなしてきた。全員が家に、おじいちゃん、お

ばあちゃんが同居している。そういった環境もあって。

(育休とることによって) キャリアが伸びますから。それによって周りの印象とか、その人の評価であるとか、どんどんどんどん人と差がついていっちゃいますので。それを理解させた上でとるというのであれば協力しますけれども。

■ 妻の社会復帰

(正社員として復帰したい) そうは言っていないですけども、家にいてもしょうがないと思ったら、やるんじゃないですか。お金という理由じゃなくて。

■ 子どもの数について

2人か3人、3人ぐらい欲しいですね。

今一人っ子であれなんですけども、やっぱり2人、3人は必要かな。必要というか、こっちも見ていてうらやましいですし。子どもたちにとっては絶対いいのかなと。一人っ子よりか必ず。子どもにとって遊ぶ相手というか、何かやる相手が、やっぱり兄弟でないと、いつも親ばっかだと。

単なる僕が子ども好きというのもあるんですけども。1人生んで、特に子どもが好きなんだなと実感いたしましたし、これが後何年かで親離れして親に反抗して、そういうのを思うと、子どもを中心とした生活の期間がもうちょっと欲しいかな。

(子どもの数と男性の育児参加は) 正直言って関係ないと

■ 周囲の子どもの数

この2~3年ぐらい前ですかね。特にそのころ周りに次の子どもができたという話も聞いていて、僕も欲しいなあと思っていたんですけども、

(多い人は) 3人、4人ですかね。(主流は) 2人ぐらい

(普段は奥さん任せだが) やっぱりオフの日はどっぷり家庭に入るという人が多いので。大っぴらに「子育ては奥さんがやってくれればいいんだ」というようなことを口にする人も全然いませんし、そういう人もいないですね。

■ 子育てのポジティブな面

僕の仕事というか、張り合いというか

にぎやかで。そういうのがあると、子どもはやっぱり2~3人いたほうがいいのかと。

うちは子どもがいなくなったらどうなるんだろうというぐらいなことも、ちょっと思うようになりますね。

子どもに対しての愛着が人よりか倍以上ふえたという自負ができたということとか、育児をしていなくても思ったかもしれませんが、例えば子どもがいるから、子どもと早く寝るために仕事を終わらせて家に帰ろうとか。

■教育観

自分の母親が小学校、中学校まではずっと家にいた。そういうのを見ていると、やっぱり母親というのは、特に男の子にとっては、子どもにとってはすごい存在だと思うので、絶対そばにいてあげたほうがいいと思うので、それもあって仕事をやめさせたというのもありますし、6年生ぐらいまで、小学校、中学校までは。

人に加害を与えないような、そういう人にはならないでほしい。

本人が、どこか、何をしたいと言ったら、やるのが務めかなとは思っていますけれども。

■育児環境

(ご実家が東京と埼玉だったが) やっぱり同居していない分、預けにいてもらうというのは(難しかった)。

(最初は) 託児所に預けていて、家内がやめて1年ぐらいは(家で見ていて)。
幼稚園は3歳から

■理想の子どもがもてない理由

自然なもの以外ではないと思いますけれども。

経済は苦しくなると思いますけれども、何でもそうですけれども、なんとかなると僕は思っていますので。

(教育費については大変だろうという気は) 薄々しますけれども、でも、なんとかなるんだなとは、

(一般的には) 僕がピンとくるのは、やっぱり経済的理由なのかなと思います。東京とか、やっぱり1人、2人も多いと思うのですが、

■その他

変な事件を起こすのはほとんどが一人っ子だと。酒鬼薔薇は一人っ子だっけな、わかんな

いんですけれども、何か聞くと一人っ子というのもあるし、そういうのを聞くと、余計嫌だなあとと思います。要は、甘やかしてとか、あとはきょうだいとのつながりもないとか。やっぱりきょうだいのいる子は、何か違うんですよね。いざ自分の子がそういうあれに入ると、本当にわがままなんです。同年代というか友達とか、そういう子たちとのつき合いが。

(子育て) 環境だと東京のほうが良いと思うんですけれどもね。周りに子どもがいないという部分では、密度で言えば、都内のほうが子どもがいっぱい。ちょっと行けばすぐ前の家とか、同年代がいる。(そういう環境のほうが) 親も多分楽だったんだなと思いますけれども。

(長野のいいところは) 自然じゃないですけれども、人の環境もありますし。

都内は賃貸にしても何にしても高いんじゃないですか。高いうえに……、子どもが多い分、やはり塾だのサークルだの何だといって、お金がかかる。そこで行き着くものが、今度は経済的というふうになっちゃうんじゃないんですか。

子どもが多いところになればなるほど、そういう風習があるということです。結局は、それでお金がかかっちゃう。

大体しゃべり始めたとか、親同士が今度は仲よくなって、あとは金がかかってくる。多分そうじゃないですかね、2～3歳、3～4歳ぐらいから。

(もう1人生むか生まないかを、ちょうど考えるころですよ) はい

いろんな情報がありすぎますよね。子どもが1人何千万円かかるとか、生涯幾らとか、そういうのを全然言わなくても、別にいいと思うんですけれど。言わなきゃいいとかいって、メディアでも取り上げ過ぎですよ。

<既婚子あり 7, 25 歳, 長野県長野市, 介護施設職員>

■子どもを持つタイミング

結婚する前。できちゃった結婚というやつで

できればあけ e 氏ったんですよ、間を。もう既に3歳だから。もし今年できたとしても、4歳だか5歳は離れるわけじゃないですか。

あ若いときに頑張って、30代ぐらいになって、少し落ちつけばいいかななんて。

■子どもを持つことについての夫婦での話し合い

僕の意見じゃないんですけどね、かみさんがね。どうしても女の子が欲しいようなことを言ってたからね。

(妻の希望は)もともとは2人だと思いますよ。男、女で。十分だろうって言ってたな。うん、とにかく女の子がいいって話だけ。もしだめだったら、・・・考えちゃうなあとは言ってた。

1年以内にはできればいいなとは思ってるけど。

「あんまり離したくないね」っていう話はする。

(家のことの決定権は)奥さんですね。

■子どもの数

まあ、3人ぐらいいてもいいような気もするけど、まあ、2人が無難かなと。

もし、次の子も男の子が産まれたら、もしかしたら3人目を考えるかもしれない。もしそこで2人目が女の子だったら、まあ、この辺でやめておこうかなと。

■子育て観

(保育園に預けはじめたのは)まだ離乳食でしたね。9カ月だか10カ月だったかな。

■育児へのかかわり

一緒に遊ぶっていう時間は少ないです。平日、車で30分ぐらいかかるから、乗せて行って乗せて帰る時間、まあ、かみさんよりは長いかなと。平日はね。

育児ってなれば、5、5まではいかないかな。6、4ぐらい。おれが4でね。

■家事へのかかわり

共働きだし、2人で一緒にやらなきゃ終わらないし。だから、アパートに帰っても、かみさんがご飯をつくる、で、おれは洗濯物をたたむ、洗濯する、お風呂を洗う、何とか掃除

するとかね。

家事は5、5ぐらいやってるんじゃないですか、多分。

■ 育児休業について

男の人も休暇をとれる、ああいうのは聞いたことあるけど、詳しく聞いたことないです。

(女性は) 1年休んで、さらにそこから、もう1年ぐらいできますかね。2年ぐらいとれます。

(自分が取る気は) ないですね。子供は女の人が育てたほうがいいですよ。

今の会社は、しっかり6時に終わるから。何ていうんだろう、満足してるっていうか。

■ 妻の社会復帰

育児休暇っていいましたっけ。何か1年間ぐらいのやつをとって。それで、また復帰して。奥さんにとっては子供と接する時間が少ないから。(二人目のときは仕事をやめたいという) その気持ちもわかるしね。

だから、やめて、何かパートみたいな、アルバイトみたいなことをして、私がお迎えに行つて、私が保育園の先生と接して、みたいな。

■ 周囲の子どもの数

(子どもがいる友人は) みんなアパートを借りて出ているような人だから。実家じゃないので。まあ、いろいろやることはあつて、大変らしいですけど。

ええ、育児もそうだし、家事もそうじゃないですか。

1人でいってという人はいない。ひとりっ子じゃ、って思うところがあるんじゃないですか。かわいそうって思うんじゃないですかね。

■ 子育てのポジティブな面

やっぱり、楽しいですよ。にぎやかにもなるしね。

2人の子供だしね。

まじめになりましたね、

■ 教育観

やっぱり自分でやりたいことを見つけて、やりたい道に進んでくれればいいんじゃないですかね。

まあ、悪いことしなきゃ、いいんじゃないですか。

高校卒業して、自分で勉強したいなら勉強するし。まあ、夢があるんだつたら、それは専門学校みたいなのところに行つてくれればいいと思うし。

高校卒業して、まあ、はたちぐらいかな。はたちぐらいになったら、あとは勝手にやってくださいと。

なるべくそっち（野球）の方向に導いていく予定なんです。

■ 育児環境

（実家をあてにするのは）どうしてもだめな日とかあるから。「この日、大丈夫？」とかいう電話はかけてるね。そのぐらいですね。子供の面倒を見てもらうだけ。

（相談するのは）保育園の先生ぐらいかな。よく知ってるし、ふだんの生活、保育園ではこうだよって教えてくれるからね。

■ その他

多分2人で自由にやっていたことができなくなって負担を感じるかもしれないけど、おれは最初からもう子供がいたから。それが自然に流れてるから。

経済的にも。もし2人目ができたら、うちのも仕事をやめるようなことも考えてたし。それで、おれ1人の給料でやっていけるかといったら、やっていけないしね。

（子どもの数に関係）ないですね。そういう経済的な面では。

<既婚子あり 8, 30 歳, 長野県小川村, 公務員>

■子どもを持つことについての夫婦での話し合い

そういう計画みたいなものはないですね。あまり話さないです。

つくる気があってつくらない、欲しいと思ってつくらないと、(妻は)結局自分にばかりしわ寄せが来ちゃうという思いはあるみたいですね。だからちゃんと、欲しいと思うならつくろうという話になりますよね。

■ 子どもの数

(妻は)ともかく1人ではかわいそうだからということには言っています。でも(自分は)あまりそんなに何人も、2人いなければかわいそうとかというのはないんですよ。1人いれば十分だなと思うときもあるし。

要は男と女という性別があれば、1人ずつがおさまりがいいかなと思ひまして。もし(次も)男が生まれたら、女の子が欲しいからもう1人つくるかもしれない。

今はもう1人欲しいと思っていますけれども、さらにその先にもう1人という状況が変わってくるじゃないですか。年もそうだし、健康状態も変わってくるし。

私自身は多分経済的理由ではあまり変わらないですね。でも周りの人は、結構それで変わると思いますが。

ある限度を超すと、自分の領域に食い込んできそうなんですよ。それ一色になるじゃないですか。お父さんとお母さんが1人ずつ手をつないでいくようなイメージじゃなくなってくるでしょう。

■ 子育て観

自分が育った家庭環境とかを見ているとやはり母親が全部やっていて、ずっと何か大変だというイメージがあるんですよ。昔の人は、本当にお母さんは大変だったと。それで愚痴も言わなかったとかいうじゃないですか。

子どもがいることによって精神的に支えになるという部分も多分にあると思いますけれども、でも子どもがいなければ生きていけないみたいな・・・はないですね。まだないです。子どもと距離があると思っているので。とても大切な存在だけれども。

何かやっぱり自分の子どもが一番かわいいんですけれども、あれをやりたい、これをやりたい、何か夢とかそういうものの大事さが結構あるし。子どもも大事だけど。

(子どもには子どもの) 人生があるわけですよ。もう始まっているわけじゃないですか。それとは別個の人生が親にはあるわけじゃないですか。だからそれを、親の人生を犠牲にして子どもを考えるのは違うと思うんですよ。

■ 育児へのかかわり

子育ての範囲は本当に、恥ずかしながら全然やっていなくて。お風呂入れるのだって、休みの日ぐらいですね。今は前よりもちょっとはよくなっていますけれども。

■ 家事へのかかわり

家事分担ですか。そうだな……。向こうは80以上かな。家事はほとんどですね。たまに皿洗ったり、本当にたまにつくったり。洗濯はしていないな。ちょっと雪が多いので、雪かきとかそういうのは2人でやったり。タイヤ交換とかそういう力仕事とかはやりましますけれども、家事は大体妻がやっていますね。

■ 育児休業について

(男性でとったひとは) いないです。皆無です。多分そういう人がいたら、「あーあ、何か奥さんのしりに敷かれているな」と思っちゃうんですよね。だからそれが社会の中で徹底し出せば、自分もとりたいと思うんですよ。でも、当たり前になるには難しいですね。

やはり一緒にいられる時間があれば、そのきずなというかそういうのも深まると思うし。やはり母親と長く一緒にいるから、それだけじゃないかもしれないですけどもなつき方が違うじゃないですか。きずなみたいなものがあるじゃないですか。

■ 会社の雰囲気

何個か仕事を単独でやっているんですよ。だから、自分は長期休暇なんてほとんどとれないんですよ。2~3日休めば、もう限界ですね。1週間なんて絶対休めないですよ。

女性は、そうはいつでも許されると思いますよ。自分が産んで育てなければ、子どもは育たないんだから。でも男の場合は、そんなこと……じゃないですか、……。男のほうは、それは関与するのにこしたことはないけれども、ほかの親なり……全然同じ対応ができることだし。別にどうしても必要な、母乳をあげられるわけでもなく、自分が産んだわけでもないし。だから許される土壌がないというか。

■ 妻の社会復帰

(復帰)したいとは言っていますけれども、ただ、やはり3歳まで、保育園に入るまでは一緒にいたいと思っているみたいなので。

■ 周囲の子どもの数

女の子が欲しくて男の子が生まれちゃって、2人男の子という友達がいるんですよ。結局、もう3人目はつくらないんですよ。

周りで、2人というのが多いですね。結局、男女どちらも生まれれば良いなと思うけれども、もう1人女の子が生まれればと思ってそこでまた男の子で、3人男の子っていう友達もいるから。やっぱり3人、そうしたらもう女の子が欲しいと思ってもう1人つくろうとしない。やっぱり3人までが……。3人という区切り、3人までという一種の壁があります。

経済的理由も多分。さっき言ったもう4人目で女の子チャレンジするのは無理だという人は、経済的理由でした。あとは体とか。お父さん、お母さん1人ずつ、そんなにいっぱい見られないじゃないですか。その辺も……ですよね。経済的理由が一番大きいのかな、学校とかもあるし。

■ 子育てのポジティブな面

守らないと生きていけない子どもがいるわけですからね、責任感はつくかもしれない。

■ 教育観

だから保育園に行かせるにしても本当はもう1年ぐらい母親といってもいいなと思うんですけども、やはり周りの友達とかと、みんな今3年保育が当たり前になっていて友達社会というのがもうできるじゃないですか。できたところに入って行くよりも、みんなと一緒に入ったほうがいいかなという単純な。

やはり我慢強く、あと素直になってほしいですね。あまり多くは望まないですけども。何か我慢強い人とかまじめな人って、そういう昔は当たり前がいいと思われていた生まれじめさとかがあってほしいですね。素直で、それでまじめに生きていってもらえれば。

おれは絶対そういうゲームとか与えたくないと思っているんです。そんなので仲間外れにされて、何かよくないことで嫌な思い、それに迎合しないから嫌な思いをしたりしても負けない子に育ててほしい。

親が楽しんでいる空間があって、その姿を見ることはやっぱり一番身近な存在として見ているんだから、こっちのほうが幸せな気がするんですよ。ただ子どもが楽しいだけの世界じゃなくて、親の楽しんでいる世界に自分もいるという安心感につながると思うんです。

ピアノを習わせたり。将来家をつくって、スタジオのある部屋とかつくって一緒に音楽やるのもいいし。

ともかくつくることは好きなので、つくる仕事についてほしいですね。組織の中で生きるのではなくて。

子どもがそれなりに目指しているものがあって真剣に取り組んでいるのであれば、大学に行くまで見たいなと思っています。中途半端に、ただみんな大学に行くから、ただ単に大学……大学に行くのだったら……。ちょっと突き放したいなと思います。

■ 妻の教育観

妻は、どちらかというと子どもが楽しい場所に行きましようという感じだから。

■ その他

(社会の) 雰囲気。このごろ感じるんですよ、嫌な感じというのが。いくら頭数がそろっても何か心がなくなってしまっている人の割合がどんどん多くなっていけば、少子化なんか金の問題よりも何かさらに嫌だなと思いますね。だからあまり、だから(知り合いがいうように) 子どもをつくるべきじゃないみたいなことは、気持ちはわかりますね。

男の育児休暇、育児態勢か。それ以前のような気がするんですけどね。逆に、いま結婚しない人とかいるじゃないですか。

子どもがいることがとても幸せで、人生の達成すべき一番のものだというような教育が必要なのかな。だからあまり別に、本当に少子化という問題が社会を揺るがす重大な問題であれば、教育として考えていかないとはですね。本当に熱心に……。あまりそういう教育って、少ないじゃないですか。性教育も。

<既婚子あり 9, 29 歳 長野県穂高町, 自営業>

■ 子どもを持つタイミング

(二人目は) 去年から頑張っているんですけど、なかなかできないもんで。上の子が3歳になったときに生まれればいいなというのが。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

2人で、「3人ぐらいは欲しいね」なんていう話は前からしていましたけれどね。

■ 子どもの数

僕が子どものときから、よその子どもというか友達とかきょうだいとかを見て、やっぱり多いほうがいいなというのもある

子どものときは育てるのは大変かもしれないけれど、大人になって、自分が50、60になって一緒に飲んだりできる年代になれば(大勢のほうが)楽しいんじゃないかなっていうのは。

保険とか入学試験とかいろいろ、当然、月々で出していくじゃないですか。そういうのを見たときに、3人まではなんとかなるんじゃないかなというのが、経済的に見てというのですね。

やっぱりきょうだいがいたほうが粘り強いというか、一人っ子は割と長続きしないこともあるし。

■ 育児へのかかわり

普通の日に關しては、僕はそんなに接する時間はないかもしれないですけど、だけど結構、朝は僕と一緒に連れて行って、嫁と母ちゃんが店に来るまでの間は、いろいろ仕込みをしながらも見てやっている時間がある。

割と家族みんなで。

■ 妻の社会復帰

うちの嫁なんかは、割と(出産後もずっと)働いていたいほうなので。

逆に、子育てだけで行っちゃうと、割とストレスがたまっちゃうような感じだと思うんです。

■ 周囲の子どもの数

うちの近所では3人のところはかなりあるので。結構、近所づき合いとか。多分珍しいと

思いますけれど、うちの近所は、全然子どもがいない夫婦か3人の夫婦。7軒くらいは3人いるところなので、割と普通に3人いるみたいなの。

3歳から小学校5、6年ぐらいの子どもがいる人たちで、(子どものいない夫婦は)できない。欲しいと言うけど。奥さんが病院に通っていたり。7年ぐらい。

■教育観

一緒にキャッチボールとかしてあげられたらいいなというのもあったので。普通に生活して、普通に公の場所に来ても、ある程度常識は持てる子どもにはなってもらいたいので。

2人で怒っちゃいけないと思っているんですね。

人に迷惑をかけないように、当たり前前の方が当たり前前になるようになってくれば。野球をやってもらいたいんです。礼儀にしてもそうですし、いろんな意味で、生きていく中で多分プラスにはなると思うので、野球はやってもらいたい。

一緒の仕事につくとか、つかないとか、本当に全然考えていないんです。(それより、野球選手になりたかった)自分の夢をかなえてもらいたい、息子にかなえてもらいたい。

ちゃんとした夢は持たせたいですね。

■育児環境

自営業なので週末は絶対忙しいので、そういうときは、うちのおやじのお姉さんが近くに住んでいたり、僕の仲人さんが近くにいたりして、土日は預けて見てもらったりしているんですね。

別々に住んでいますけれど、結局じいちゃん、ばあちゃんとほとんど一緒に過ごしているので、2人で何とかしようとかじゃなくて、割と家族で協力し合っただけで今までもやってきたので。

<既婚子あり 10, 27 歳, 長野県飯山市, 自営業>

■ 子どもを持つタイミング

1人目も別につくろうとかそういうのじゃなくて、自然の流れでできたらできたでいいやと言ったら、できた感じ

(二人目は、一人目が) 保育園とか幼稚園に入るぐらいじゃないですかね、気持ち的には。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

(話はするが) はっきり言いませんね、あの人は

とりあえず次2人目はちょっとあけたいなどは話ししましたね。(妻は) ちょっとしばらく産む痛いのは嫌だと

■ 子どもの数

自分がきょうだい4人いて、4人はうるさ過ぎるという。多くても3人です。1人ではちょっと子どもも寂しいから。おれのほうも1人はちょっと寂しいかなと、まあ2人か3人かと思います。

■ 育児へのかかわり

おっぱいくれたりとか、そういうのはできないけど、それ以外は何でもします。おむつかえたり、寝せたり、あやしたり、遊んだり、全部しますよ。

■ 育児休業について

合間、合間に何かあったときにとれるんだったら、幾らでもとりたいですよ。やっぱり仕事をしないと給料とかじゃなく、行かないといけないと思うし、でも育児もやっぱり大切だから、もし本当にかみさんが困ったり何かあったときには、やっぱり休みとりたいたいですね。

■ 妻の社会復帰

保母に限らず、ある程度子どもの様子を見て働くつもりでは。未満児でとってもらえる(預かってもらえる)その年齢か、2歳から・・・。

■ 周囲の子どもの数

年の近いのがいっぱいいますね、1年前後で。1人だけでいいやという人はあまり聞かないですね。

■教育観

テレビで子守をするぐらいテレビを見せておいて、そういうのは嫌だとか。
例えばピアノだったりとか、そういうお稽古（けいこ）事とか、そういうのは考えてない
です。

■育児環境

おれの両親のうちに住んでいるから、ばあちゃんもいるし。

そんなに神経質にならなくてもいいよというおふくろの言い方があったり。でもかみさんは結構神経質なほうなんで、その辺でちょっと意見が。けんかなんてしないですけど、ちょっと意見が合わなかったりします。

■理想の子どもがもてない理由

（経済的なことで子どもの数は）変わらないですね。
それは本当に親の意識の問題じゃないんですかね。

■その他

自営なんで、仕事がないと本当に収入がなくなっちゃうので。それもあるし、子どもね、やっぱり何かやりたいことをやらせてあげたいんですけど。やっぱり、そういうのにお金がかかるので、結構、この辺だとスキー。もし子どもがやりたいと言ったら結構お金かかるんですよ。

<既婚子あり 11, 30 歳, 長野県坂城町, 自営業>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

(妻は何人子どもがほしいとか) そういうことは言わない、一切。

(結婚時は) かえって逆に「できるかな」というくらいの感覚だったから、「私はもうだめかな」と言っていたから。

自分も働いているし、やっぱ (1人で)、限界かなと思ってるかもしれない。

■ 子どもの数

理想はやっぱ 2人ぐらい欲しいと思って。

自分もきょうだいがあったからそうだけど。家族が少ないから、やっぱうちも多いほうがいいかなと。

1人よりも2人、2人よりも3人なんだけど。

やっぱ大きくなってね、きずなというものがあるんだよね、2人となると。きょうだいがいると何となく安心できるというのかな、

■ 子育て観

責任的な部分から自分がやらなきゃと思う・・・からかな。それに関してはストレスになったりということはない。

子どものことを最初に考えるようになったかな。まず最初に。ものを買うでも何でも。やっぱ子どものもので、まあ自分のは後でもいいやと。

子どもの育っていくまでの一瞬っていうのかな、そういうのってやっぱ見てかなきゃいけないと思う、男も。

たった1年でもいい、1歳になるまでの、そういうのは男にとっても大事だと思う。

それって自分の自信にもなるんじゃないかな。

■ 育児へのかかわり

朝8時から3時まで自分が見てるんですね、おやじと。そうするとおれのおふくろが来て、そこから今度はうちの嫁さんが帰ってくるまで3時間ぐらい見て。

(お店で) おむつをかえたりとか。食事、離乳食をくれたりね、やってるんですよ。

6時間から7時間ぐらいだね。

育児で疲れたっていうの、ないね。

■ 家事へのかかわり

自分が自営業だから、昼間暇なときにやったり。そういう洗濯もね、やったり。

7 : 3……、8 : 2ぐらいで自分がやってる感じかな。

家事でも何でも、料理でも何でもね、そういうのはあんまり嫌いじゃないから。うん。まあ普通に。体が動く。

■ 妻の社会復帰

2カ月で復帰しています。産前は20日くらい。

■ 周囲の子どもの数

周りね、やっぱ2人。3人という人もいるけど、3人は少ないな。

3人いれば多いって感じがするよね、やっぱ。経済的な部分が一番多いんじゃないの。

■ 子育てのポジティブな面

毎日違う、動きが違う。やっぱ、食べるもんにしても、「今日はこれくってみようかな、あれくってみようかな」と、だんだん・・・おままごとじゃないけど、小さいときのそういうような感じでやってるから。楽しいっていうか、おもしろい。

うちの中が明るくなるのがいいのかな。

1人ふえるっていうのは、何にもかえられない、ほんとに。

自信がついてくるというのかな、自分に。

何かこうね、大きくなったような気がする、自分がね。一回り、少し。

得してると思うよ。何でも発見するのは自分が最初だし。

■ 教育観

そのとき自分の好きなようにしたら、(好きな)ようにすれば。

(学校も) そういうのもそのとき行きたければ、そこへ行ったらという感じ。

(保育園) うちが3歳、普通に。

子どもが初めて表へ出る、そこまでのルール、ある程度のしつけというのかな、そういうものを家庭の中で学ばせるということじゃないかなと。

■ 妻の教育観

自分がこうしようっていうような、投げかけてみる。それで向こう(妻)が「いいんじゃない」って。

10のうちでいえばもう9は大体こっちの考え方で。

■ 育児環境

もう保育園が近いから、歩いて2～3分のところにあるから。
自分たちでやりなさいって。私たちはそこをサポートするという。

■ 男性が育児参加する条件

もう少しね、男性の本当の育児に対する、休暇に対する保障、それが一番じゃないかと。
あと、休んでいる間もお給料が入るといのが、そういうものがもうちょっと確立して、
もうちょっとインパクトのあるようにやらないと、絶対無理だと思うね。このまま、まだ
まだ下がるでしょう。

考え方を変えていかなきゃだめなんだよね、もう即、育児イコール大変だと男の頭の中にはあるから。

■ 父親の役割

やっぱお父さんが近くにいるのって、いいのかなと自分では思う。小さいときに。

よく母の愛情というのは聞くけど、父の愛情ってなかなか見えてこない部分があるじゃない。
そういうものをやっぱかけてあげられる。結局それって母親のやっていることと同じ
なんだと思うんだけど、両方をかけてあげられるってことじゃない、やっぱそういうの
って。

(何か女性と違うとか、ハンデに感じることは) ない。

自分はだからそのときは、母親も父親も一緒のような感じでやっているから

■ 理想の子どもがもてない理由

やはり奥さんの体もやっぱ関係してきてるから。

■ 行政へ望むこと

もう少しね、社会福祉にお金をかける部分って今多いんだけど、そういう部分をもうちょ
っと子どものほうに回してくれると、もう少し子どもをつくる、ふやそう、ふやそうとい
うのがあれば、いいんじゃないかと思うんだよね。

■ その他

やっぱ、自分に預けてるとい安心感もあるし。気にせず仕事をしているんじゃないんで
すか。

今、自分、やっぱ理想的かなと思うね。例えば自分がもし会社員で、奥さんもうちにいて、帰ってきたら子どもはもう寝ているだけとか、そういうふうなだったらどうかなって、やっぱ考える。

やっぱね、自営業のほうがいい。うちにいて。こういう仕事をしていて子どもを見てるほうが断然いいと思う。

<既婚子あり 12, 27 歳, 長野県長野市, 飲食業>

■ 子どもを持つタイミング

入籍は3月で生まれたのが9月なんで。

年子とか無理だから、しかもうちのかみさんはもう31だし。

うち帝王切開だったんですけど。3年ぐらいあけなければいけないんですよね、帝王切開は、たしか。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

2人でもまあまあいいかなとは思ったんですけど、うちの奥さんは絶対3人と言っていましたね。かみさんは3人きょうだいだったから。

今はおれよりむしろかみさんは、欲しい欲しいと言ってますね、

むしろ将来的な。今は生活が一応できているから日々暮らせているから、そのことについてはそんなにはないんですけど、ここにじゃあもう1~2人生まれたら、こうなんじゃないとか、あなんじゃないとか、どうするよとか、そんな話ですね。

■ 子どもの数

3人ですね。おれは、きょうだいは2人なんですけど、親戚と一緒に、3人いて、いところが3人、だから子ども5人で一緒に生活していたみたいなき感じだったんですよ。それで、多いほうがいい。おれは弟と2人きりだけになったときとかは、やっぱりちょっと寂しいかな。

ちょうどいいかな。相当かつかつだと思っんですけど、3人子どもができれば。

多くて損をすることは多分お金だけだと思っんですよ。だから頑張って稼げばいいか、感じ的にはそんな感じですね。

(経済的なことを)何も考えなくてよかったら、5、6、7人ぐらい欲しいですね。

■ 子育て観

ほっといてもでかくなるから大丈夫みたいな。

(何歳までは奥さんに)見てほしいと思う希望ということですよ。うーん、ないですよ、おれ。

■ 育児へのかかわり